令和２年度　取組報告　　富雄中学校区地域教育協議会

めざす子ども像　**『命や人を大切にする子』『感謝の気持ちを大切にする子』『夢に向かって進める子』『富雄を愛する子』**

取組目標　**小中全てでスタートしたコミュニティ・スクールと連動し、幼稚園も含めた 11 年間を一貫した考えのもと地域と学校が協働する体制の定着を目指す。**

今年度の取組紹介

例年郷土学習として取り組んでいる「歴史講座」ですが、今までの「一堂に集まって共に学ぶ」という開催方法がコロナ禍で密を避けるため出来ず、代わりにできる取組を模索しました。実行委員会を組織し協議を重ねた結果、地域の歴史、風土を散策しながら学ぶスタンプラリー「ふるさと発見ウォーク」を実施することになりました。用意したラリーカード、地図、資料を手に参加者がそれぞれで巡り、ポイントで中学生ボランティアから解説を聞き、ゴールを目指しました。未就園児から 80 代まで、多くの親子やお友達同士が参加してくださり、お天気にも恵まれ、この学びの機会を楽しんでいただけました。密を避けるため出発地点も 2 か所に分け、それぞれのペースで歩けるように配慮した結果、一体感に欠ける取組になるのではと心配しましたが、参加された皆さんは故郷を知るというテーマを共有し、歩きながらも様々な交流を持っていただいたようです。来年度以降もこのような取組にリクエストをいただきました。資料を準備するための作業が実行委員会のメンバーにとっても地域を学ぶ良い機会になりました。

【今年度のまとめ】

これまで継続してきた取組を、コロナ禍を理由に途切れさせることは考えず、何とか方法を考え、対策を取り、実施しました。集う場所を分散させたり、一斉に取り組むのではなく、それぞれで取り組めるようにキットを作成して配布したりと、今年度経験したことがコーディネーターにとってはスキルアップにつながったように感じます。また、今まで継続してきたことが地域や学校にしっかりと根を張っていることを感じることもできました。こういう時期だからこその新たな地域とのつながりもできましたので、今後も関係を大事にしていきたいと思います。

【来年度に向けて】

現在の制約された状況がいつまで続くのか分かりませんが、「コロナ禍における学びの継続」を合言葉に、活動を発展させていきたいと思います。必要なことをあきらめないで、できる形にアレンジし、慎重さをもって推進していくための体制はできています。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立富雄中学校運営委員会**

めざす子ども像　**命や人を大切にする子　夢に向かって進める子**

感謝の気持ちを大切にする子　　富雄を愛する子

取 組 目 標

地域と一体になった活動を通し、めざす子ども像に合わせた取組みの充実。

【今年度の取組紹介】

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域と共に例年行ってきた取組が大きく制限される中、本校区のめざす子ども像育成に向けどのような活動ができるかを、コーディネーターと話し合いを重ね、工夫をしながら今できる新しい方法での取組をすすめることができました。

ボランティア部では、毎年訪問させていただいていた、色々な施設にコロナの影響で訪問することができず、何か今できることはないかと考え、施設へのマスクの寄付を行うことができました。また、今年は、全ての地域での夏祭りが中止になり、「富より団子」を販売することができませんでした。そんな中、少しでも多くの人に「富より団子」を知ってもらうことができないかと考え、コーディネーターと生徒が地域のスーパーやお店にプレゼンテーションに行ったことで、実際に商品として置いてもらうことが出来ました。キャリア教育においても、中学３年生を対象に、各企業で実際に面接等の人事を担当されている方を招いていただき、少人数での模擬面接の体験を行うことが出来ました。この取組は、生徒たちにとって実際に人事を担当されている方からのアドバイスを聞くことが出来、貴重な体験になりました。国際理解教育においても、今年度はJICAの海外協力隊に行っていた方をコーディネートしていただき、日本人から見た各国の様子について話を聞くことが出来、それぞれの国の実際の様子や文化を学ぶことができました。

【今年度のまとめ】

今年度は、新型コロナウイルス感染症の為、人が集まっての活動が大きく制限される中、地域の方々と教員及び生徒たちが従来の方法にとらわれず、今できる新しい取組の方法について検討を重ね工夫しながら実施することができました。その結果、年度の初めに思い描いていた以上の活動を実施することができました。また、それぞれの活動内容について見直しを行った結果、新たな取組を実現することができたものもあり、コロナ禍の中でも効果的な取組を行うことができました。

【来年度に向けて】

今年度の経験を生かし、その時その時の状況の中、本校区のめざす子ども像育成に向けどのような活動ができるのかをコーディネーターと教員がしっかりと熟議し、それぞれの取組に教員も積極的に参加することで、より一層地域と協働できるよう努めていきたいと思います。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立富雄北小学校運営委員会**

めざす子ども像　命や人を大切にする子　感謝の気持ちを大切にする子
夢に向かって進める子　富雄を愛する子

取組目標
〇地域の人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習等の充実
〇学んだことや取り組んだことを地域や保護者ボランティアに伝え、見てもらう機会をもつことで児童の表現力、発信力、コミュニケーション力を高める。
〇地域の方とのふれあいを通して、挨拶する態度を育てる。

【今年度の取組紹介】

ホタルの学習（４年生・環境学習）

“富雄のホタル”を通して自然を守る営みについて学習しました。
ホタルの餌“カワニナ”の育成現場を取材して作成した学習用ビデオを視聴した後、地域のカワニナ博士に、カワニナの飼育方法を教えてもらいました。飼育して 100 匹まで増えたホタルの餌カワニナ、いよいよ放流のときがやってきました。地域の方と一緒にホタルの生息地へ向かい、「来年、たくさんのホタルが飛んでいますように！」と願いを込めて放流しました。また新たに 10 匹のカワニナを採取しました。来年のカワニナ放流に向けて、飼育を始めています。

地域の方とカワニナを放流

ビデオレターで町たんけん（２年生・生活科）

子どもたちの生活する富雄の町をたんけんしました。
子どもたちもよく知っている富雄の交番・郵便局・青果店・米穀店・生花店・文房具店に、自分たちの考えた質問をビデオレターとして届けました。町の皆さんがひとつひとつに丁寧に答えてくださったものを映像にして、今度は子どもたちへ届けました。実際に会えないけれど、ビデオレターでつながることができました。「すきな花が分かったよ、こんどお花屋さんにいきたいな」という声も聞こえました。富雄の町のすてきな所や人をたくさん発見できました。

文房具店からのビデオレターを視聴

【今年度のまとめ】

コロナウイルスの影響で、地域に出て体験できなかったり、地域の方と直接出会えなかったりすることもありましたが、動画を作成するなどして、子どもたちが、地域の方に質問したり考えを伝えたりする機会をとりました。繰り返して視聴できたり伝え方を何度も工夫できたりする動画の良さもあり、子どもたちにとってより質の高い学習となりました。今年度も、挨拶に重点を置いて取り組みました。地域とのふれあいの中で挨拶をすることで、地域の方からは「地域も元気がもらえる」と言っていただいています。

【来年度に向けて】

コロナウイルスの影響から、地域と学校の打ち合わせを十分にできなかったことが課題にありました。来年度は、「子どもにどんな力を付けたいのか」を教員とボランティアが共有し、役割を明確にして子どもたちに関わることで、「自ら進んで活動しようとする児童の育成」を進めます。動画活用や小グループ活動等のウイルス感染対策を講じ、富雄で出会う「人」「もの」「自然」から、「富雄を誇りに思う児童」を育てていきます。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立鳥見小学校運営委員会**

めざす子ども像　**命や人を大切にする子　　夢に向かって進める子**
感謝の気持ちを大切にする子　富雄を愛する子

取 組 目 標　**・ゲストティーチャーを招聘するなど多様な人との関わりを通して、より良い人間関係を作り、夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。**
・地域の方と共に活動することで、人と出会うことの楽しさ・素晴らしさ、地域の良さを知ると共に、地域に対する誇りと自信、地域を愛する心を育てる。

今年度の取組紹介

〇図書活動支援事業

児童と地域の方と間近で接触することに配慮し，図書の本のブッカーかけや季節感あふれる図書室の整備をしていただきました。図書室の環境が季節ごとに変わり、心豊かな学校図書館教育を行うことができました。

〇体験学習事業（1 年）

1 年生は，昔遊び体験を実施できませんでしたので、地域コーディネーターの方の協力により「大型紙芝居」の鑑賞をしました。初めての取組でしたが、感染症予防対策をしっかりしていただき、1 年生は畳 1 畳の大きな紙芝居に吸い込まれるように鑑賞していました。お話は奈良の民話を取りあげていただき、「奈良にもこんなお話があるんやな。」と興味を示してくれる子たちもいました。地域のことを知り、興味を持ち、地域を愛する子の育成のきっかけづくりになりました。

今年度のまとめ

今年度はコロナウイルス感染状況をふまえての取組になりました。地域コーディネーターの方と学校とで今までの事業を見直しました。同じ形で実施できる取組・形態を工夫してできる取組・新たな取組に仕分けを行いながら地域ボランティアの方等に協力をいただき実施することができました。感染症予防を行いながら、福祉体験（4 年生）、命の学習（2・6 年生）、花植え（環境委員会）を行うことができました。形態を工夫して鳥見バザー（特別支援学級）や図書活動支援事業（全校）を行うことができました。新たな取組として大紙芝居体験（1 年生）を行うことができました。また、変わらず子どもたちの登下校時の安全見守り活動を続けてくださいました。地域コーディネーターのお知恵やボランティアの方々のご協力に感謝いたします。

来年度に向けて

来年度も今年度同様，体験学習事業，環境整備事業，学習ボランティア事業，子ども安全見守り事業の 4 つの事業を中心に取組を展開していきます。コロナウイルス感染状況を見極め、今までの取組を考え直し、工夫して実施することにより、富雄中学校区の取組目標が達成されるよう工夫改善しながら実施していきたいと考えています。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立富雄北幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子　富雄を愛する子

取 組 目 標

様々な事業を通して、地域の人と触れ合い、関わることで、コミュニケーション力を高めたり、感動体験を積み重ねていくことで豊かな心を育てたりする。また、事業内容を多くの方に知らせていくことで、人が集まり、協働していくことができる。

【今年度の取組紹介】

◎日本の心「思いやり」を大切にした伝統文化に触れて

剣道教室では、剣道具を見て「かっこいい」「鬼滅の刃の刀だ」と目をキラキラ輝かせている子どもたち。竹刀の振り方、声の出し方はいつも以上に力が入っていました。日本古来の武道の基本精神である「礼に始まり、礼で終わる」の精神を学び、相手を敬い尊敬する気持ちをもつことの大切さと自分の心を整えコントロールする方法を知りました。

茶道教室では、作法を知り、相手のためにもてなす心得を学びながら、季節あふれる香合、茶碗、なつめ等を見せていただきました。お茶を点てたりいただくことは相手のことを考えたり、いろいろなことに感謝して行うことや自然の楽しさ・美しさを感じたりすることなど、茶道の「もてなし」と「しつらえ」を教えていただきました。

◎「お兄ちゃんたちに会いたいなぁ」中学生によるボランティア活動

中学生ボランティア部の生徒が、冬野菜の栽培ができるように畑作りや子どもたちが気持ちよく遊べるように、草引きや落ち葉集め等の環境整備をしてくれました。次の日、子どもたちは「わあ、外がきれい」「お兄ちゃんたちに『ありがとう』と言いたい」「会いたいなぁ」と感謝の気持ちをもつことができました。

【今年度のまとめ】

地域コーディネーターや地域の支援者の顔写真と様子を掲示して知らせたことで子どもたちだけでなく保護者も顔を知りつながることができました。保護者による園評価アンケートでは、９８％の良い評価が得られ、地域コーディネーターの方からも体験された保護者や地域の方の率直な意見を聞いたりしながら取組の高評価を得ました。地域の方に温かく見守られ、感謝の気持ちや思いやりの心を育んだり、地域のすばらしさを知ったりしながら、子ども・保護者・地域の方が一つとなって、心に蓄積される体験となりました。

【来年度に向けて】

コーディネーターの方々と一緒に人とかかわり、人とつながりが持てる体験活動になるように計画・実践・振り返りをしていくと共に、保護者や地域の方の他の方々にも園の取り組みをさらに理解していただき協力が得られるようにタイムリーな啓発活動にも努めていきたいです。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立鳥見幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　　夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子　　富雄を愛する子

取 組 目 標

〇地域の方との活動や行事を通して、触れ合いを深められるような取り組みの充実。
〇幼児の心身の発達を促す直接体験ができるような保育内容の工夫。

今年度の取組紹介

〇「三味線コンサート」

今年度の新規事業として、幼稚園に地域の三味線教室の方々が来てくださり、コンサートをして下さいました。実際に三味線に触らせていただいた後、三味線で「アンパンマンマーチ」「さくら」「炭坑節」などの曲を演奏していただきました。子ども達は「三味線って、初めて見た」「音が響くな」と初めての三味線の演奏に体を乗り出して聞いていました。演奏の後、阿波踊りの着物に着替えたゲストティーチャーの方に、阿波踊りを見せていただきました。曲に合わせて、地域の方のしなやかな手足の使い方を見ながら子ども達も踊ってみました。日本の伝統楽器に触れ、阿波踊りを体験するいい機会となりました。

〇「茶道教室」

地域の茶道教室の先生にゲストティーチャーとして来ていただき茶道教室を行いました。先生やボランティアの方の着物姿や、掛け軸や一輪挿しの花。いつもと違う雰囲気に子ども達は、興味津々の様子でした。和菓子をいただき、先生にお点前を見せていただいた後、４歳児は、ボランティアやコーディネーターの方に点てていただいたお茶を、５歳児は自分で点てたお茶をいただきました。日本の四季を大切にする気持ちやおもてなしの心に触れるいい機会となりました。

今年度のまとめ

コーディネーターの方々と相談しながら取組を進め、多くのボランティアやゲストティーチャーのご協力により、保育内容を充実させ、環境改善を行うことができました。子ども達は地域の方々との触れ合いを通して、感謝の気持ちや安心感をもてるように積み重ねてきました。今年度は、様々な日本の文化を身近に体験することができました。

来年度に向けて

今年度同様、コーディネーターの方々と連携し、小学校以降の学びにつながる心身を育んでいけるような豊かな体験や園内の環境づくり等に、地域の方々の力添えを得ながら取り組んでいきたいと考えています。また、子どもたちの活動の広報活動に努めていきたいと思います。